

☆作業日あれこれ

和歌山県や奈良県に大災害をもたらした台風の後、数日涼しい日が続き、作業日もこんな天気だといいな考えていたのですが、前日より暑さがぶり返し午後の作業は中止かなという 9 月の作業日です。

稲刈り真っ盛りのためか、この暑さに閉口されたのか、参加者は 30 人程であります。本日の観察会はブンちゃん担当、レクチャー・ルームで 20 倍の実体顕微鏡で見た森の様々な物のスライド・ショーからです。その後、草原広場に出て顕微鏡



夜の森を探検だ！

で見たい物を探すのですが、その前にこの季節、草原広場に出れば当然ブンちゃんのバツの解説が始まります。手元に森で撮った虫の写真を用意、これは何でしょうかと訊いてきます。茶色くて見慣れない虫です。マツシだと告げられると、「チンチロリンのあれやな」とか「マツシはスズメより高いんや」、「チンチロリンは井とサイコロの音や」とそれぞれの聞き手らしい声が返ってきます。唱歌で知っていても実物を見る機会の少ないマツシですが、草地に住む秋の虫でスズメのように地面に下りずほとんどを生きた植物の上で過ごします。産卵もスズメなど科の生きている茎にするので地面に産卵するスズメとは異なり飼育することが難しく、それが流通する場合の値段の差になるようです。なお顕微鏡の件は、持ち帰った物を見るより、カメラを取り付けてどんなふうに写真を撮るのかで盛り上がっていたように思います…

無風状態で厳しい残暑の中、作業が始まりました。台風などで寝たり折れた竹林整備には、久しぶりに休暇の取れた青年部長の姿もありました。今回の台風では根元から倒れた樹はありませんでしたが、タノキの枝が多数折れたり、大きなエキの枝が折れたりしました。このエキの枝処理も今回の作業です。お昼のミーティングでは、この枝処理の話からエキが植えられることが多かった一里塚の話題になりました。三代将軍家光の時代、一里塚に何を植えましたでしょうかとお伺いを立てると、街道にはマツばかりが目立つのでそれ以外の木の意味で「余

の木」を植えよと答えられたのを、家臣が「榎(エノキ)」と聞き間違えたとの説、エキを当地では「ヨミナキ」ともいうので「余の木」がヨミナキであるエキになったという説などが紹介されました。エキは日本の国蝶とも言われるオミナキの食草、保全作業に関して蝶と食草植物の面から助言を求めた故森石雄氏が森のエキを見て「オミナキには飛翔力があるので飛んでくるかもしれない」とおっしゃっていたことを思い出し、このことも話題にしました。氏はその時、ニタツとして「他所から持ち込むのはいかんけどな、この近くの飛んで来そうなのをその内、仕込むかな。遺伝子的には問題ないしな。」といたずらっぽくおっしゃいました。氏の膨大な蝶の標本は産地ごとに整理され、同じ蝶でも産地ごとの微妙な違いを常に語っておられました。驚くほどの距離をあちこち自転車ですり回っておられた氏でしたが、この計画を実行することなく亡くなられた残念なことでした。



友だちとどんぐりコマ対決

下草の機械刈りは入口近くから木道周辺で作業をしていましたが、突撃隊長によると「ヤブランやらを刈り残そうとしたけど、3分の1くらいはあかんかったかな。」とのことでありました。草原広場ではセトカアワダチソウとクズ退治です。クズの蔓を手繰り寄せているとアワダチソウ退治がおろそかになりますし、アワダチソウを抜き始めるとクズがおろそかになるという有様で同時並行作業は難しいようです。

お昼は炊き込み御飯に豚汁、キムチ、切干大根の煮物、冷奴などいつものように御馳走でした。作業で汗をかいた体にはビールはことその他おいしいのですが、午後の作業実施については判断をマルに任せましたので、飲むことに専念はできず中止決定の場合の延長戦に備えてクハは節度ある状態で飲んでおりました。ミーティングの最後にマルは「もちろん、午後も作業をします！」と期待に反して高らかに宣言するではありませんか。こうなればクハも意地であります。午前引き続き草原広場でクズ退治に専念しましたが、1時間ほどの作業で汗と共に完全に酒気が抜けてしまいました。

10月26日(水曜日) 週日活动 森の居酒屋は10月5日 午後7時頃～

10月8日(第2土曜日)9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先 (遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえフォトログ」で検索！

第4水曜日は汗ばむほどの陽気のもと総勢17人が参加。竹の間伐作業を行ったのですが、遊林会の竹林作業は密度調整を兼ねた間伐のため切る竹の選別などかなりの手間がかかり1日かかるとかと思っていたのですが、水曜ベテランメンバーにかかれば11時には既に作業終了。急遽、枯れ木の伐採を行いました。午前中に枯れ木を1本伐採してお昼、本日の昼食は採れたてのサツマご飯、お茶のポロ餅かけ、チゲンシイ煮など今回も豪華8品のおいしくて昼食を頂きました。

午後からも引き続き枯れ木の処理で場所はモジの林。比較的大きなモジとウミズグサが枯れていたの、周辺の木々を傷めないようポイントの方向に伐採処理しました。ところがこの2本の処理にも半日はかかるか踏んでいたのですが何と30分余りで完了。2日分の作業まで終わってしまいどうしようと考えていると、ここにも枯れ木があるぞ！との声でそれらを処理することに。滅多にこないモジの林では、よく見ると結構木が枯れていることに気付き、結局この場所で計4本の枯れ木を処理しました。今年のモジの林の紅葉も見応えがあるといいですね。

☆9月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。9月は3回の活動を行いました。
9/1 8人 台風12号による雨のためテント下で枯れ木とアダン枯木の薪割りを実施しました。
9/15 10人 枯れたコナなどを伐採しました。今回の枯れ木はナ枯れと関係がないようです。
9/22 5人 竹林の間伐作業と、丸太を削って「竹切り台」を作っていただきました。
10月は13日、20が活動日です

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

たくさんの新人スタッフがやってきてから、まもなく半年を迎えます。毎週実施するモリイコ！に加え、秋は連日の学校来訪がありまだまだこれから森は忙しくなります。彼ら彼女らは今、ドングリ工作の特訓中です。試しにいくつか作って見たらマル隊長からあっさりと「作り直し！」と言われ、ドングリ工作にもこんなにこだわりがあるなんて!?と驚いたようです。手に傷を増やしながら日々工作に取り組んでいます(笑)。

さて、例年通り9月後半から学校などが毎日来訪されます。秋の森の主演・ドングリも落ち始めました。子どもたちはまるで宝物を見つけたようにドングリを集めてくれます。忙しい中でもそんな笑顔に癒されて、がんばろう!って気持ちになります。秋のもう1つの主演は焼き芋です。今年のお芋はなかなかの出来で、焼いたお芋はとってもキレイな黄金色!焼き芋を食べた子どもたちからも「美味しい!」と好評でした。この秋もたくさんの笑顔が見られますように!

☆モリイコ!の子どもたち

モリイコ!第4回目のテーマは「植物」ということで、草木染めに挑戦しました。カを使って刈割ったカバを刈り、絞りを付けたかばんを染めました。鮮やかな黄色に染まったかばんに子どもたちは大喜び。また、森のあちこちに仕掛けた「挑戦状」へのチャレンジでは、「クズで大縄跳びをしよう」や「オハコ相撲をしよう」というお題をクリアし、植物を使ったいろいろな楽しみ方を知りました。

9/18にはオプション活動として初の夜プログラム「夜の森のたんけん」を行いました。今の時期に鳴く虫や夜のいきものの話を聞いて、自作のペットボトル集音器を手にもって夜の森を探検です。提灯を持って森を一周し、ある場所では提灯も消して完全に真っ暗な森も歩きました。昼間とは違った森を楽しんでもらえたと思います。

☆今年、変だったこと…

梅雨がかなり早く明けたり集中豪雨が降ったりと例年と少し違う気象がある中、森でもいくつか変なことがありました。例えばドングリの落ちる時期が10日ほど遅かったこと。しかしこれは「異常」と言うには及びません。

変だなと感じたのは今年森でクマゼミの鳴き声を聞いていないこと。クマゼミはもともと暖かい地域の虫で当地には生息していなかったと思うのですが、この地域で年々生息範囲を広げているようで、この森でも2,3年前からクマゼミの鳴き声を聞くようになりました。しかし今年は、アブラゼミやシミンゼミなど常連の虫たちが鳴く中、クマゼミの声を聞いた覚えがないのです。不思議です。

今年、特に変だったのはケキの茶変です。この森だけではなく、社寺林なども含めた周辺で今年ケキの葉が早々に茶色になったのです。比較的湿った土壌を好むケキは渇水が続くとダメージがありますが、今年は渇水というほどではありません。渇水であればケキ以外の樹種にも影響が出そうですが、同じ仲間のアキレやエキ、ムクキは元気なのです。何がどう影響したのかは分かりませんが、おそらく気象条件の何かの要素が影響を及ぼしたのではないかと考えています。ただ、葉が茶変したからといって木が死んでいるとは考えにくいので、来春にはまた新緑を見せてくれるだろうと思っています。

☆10月の作業は…

いよいよ秋本番。作業にも良いシーズンになってきました。本格的な竹林整備の前作業や、間もなく黄色の花を咲かせるセイカアワダチソウの抜き取りなどの作業を予定しています。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします!